

## 清須学推進会議 第2回会議 議事要旨

<b>日時</b>	平成28年8月26日(金) 午前10時～11時40分	<b>場所</b>	清洲市民センター3階 303会議室
<b>出席者</b>	推進会議 委員	原田委員（愛知県教育委員会文化財保護室 主査） 加藤（富）委員（郷土史家） 横井委員（清須市ガイドボランティア 会長） 加藤（暉）委員（清須市ガイドボランティア 副会長） 田中委員（清須市ガイドボランティア） 箕浦委員（西枇杷島町山車保存会・西枇杷島町まつり振興会 会長） ※会長 山本委員（キリンビール株式会社 名古屋工場 総務・広報担当） 石田委員（清須市観光協会事務局長（清須市産業課長）） ※副会長	
	清須市	事務局	

### 1 開会

- あいさつ （河口課長）
- 委員紹介 （事務局）

### 2 議題 清須学推進事業の基本的方向性について

- 資料説明 （事務局）
- 委員意見 （各委員）

清須学推進事業の基本的方向性について	
<b>横井委員</b>	地域資源の絞り込みが重要であり、しっかりやって欲しい。 マイスター認定のしくみについては、既往のガイドボランティアメンバーには十分な経験があり、対応できると思われる。
<b>加藤（暉）委員</b>	長期的な取組みとして、まちづくりとの連携等、すぐには実現が難しそうな事柄にも取り組むべきではないか。 教員や市職員が清須を好きになるような、研修や学びの機会が重要である。
<b>田中委員</b>	講座の回数は6回でよいか、実施は土日でのよいか等、十分に検討して欲しい。
<b>山本委員</b>	事業の目的はシビックプライドの醸成であることを、しっかり意識して取り組めば、効果も大きくなる。 マスコミが反応するポイントを踏まえ、PRにも力を入れて欲しい。外部からの目で、市民の意識も変わる。
<b>原田委員</b>	貝殻山貝塚資料館のハード的な拡充とともに、清須城やキリンビアパーク等、近隣施設との連携によるアクセスの改善に期待をする。 他市（春日井市）の取組みのように、継続的に調べていくことで発見がある（東海学）。

<b>加藤（富）委員</b>	清須学とは何かをきちんと考える必要がある。研究の場としても期待をする。テキストの取りまとめにも工夫が求められる。 「きよす」の「す」は、できるだけ「須」に統一してはどうか。
<b>石田委員（副会長）</b>	地域資源だけでなくマイスター（ガイド）も清須を好きになってもらう魅力となるので、人としても資質も重要である。 旅行代理店等の朝日遺跡に対する関心は高まっている。
<b>箕浦委員（会長）</b>	ハードだけの魅力ではリピーターが期待できない。企画展示等により何度も足を運んでもらう工夫が必要。滞在する時間が長くなれば、飲食をしたり消費も増えたりする。 信長公だけでなく様々な武将と清須との関係を、時間をかけて醸成するべきである。

### 3 閉会

- 9月17日（土）に開講記念シンポジウムを開催。各委員にも参加者確保への協力を依頼
- 次回会議は、11月を予定。